

「むつ」の「第1回原子力歴史構築賞」の内容

田中圭とのやりとり (平山)【挨拶部分はカットしました】

*****田中氏へ 2019/12/24 (火), 14:33

Kei Tanaka <kei1952@r7.dion.ne.jp>;

'Kei Tanaka DDK' <kei.tanaka@dhtd.co.jp>

田中様 from 平山

写真有難うございます。「原子力船「むつ」の研究開発」が対象ということで
了解しました。

賞状の方もできれば確認したいのですが、賞状の方はもう少し詳しい記載があるのではないかと思います
ですが記載内容がトロフィーと同じであれば無くても良いと思います。

お手数かけます。

***** 田中氏より 2019/12/24 (火), 14:04

平山先生

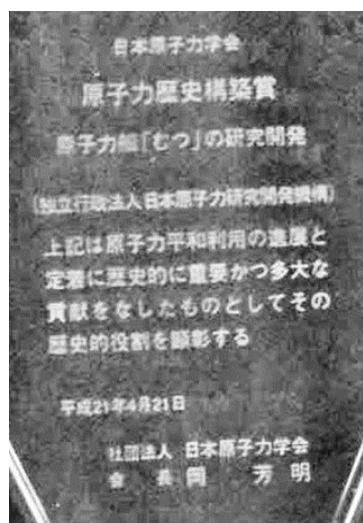
むつ市の青森研究開発センターに確認したところ、賞状が見つからない
ようです。

トロフィーの写真は送付します。

経緯を調べたところ、以下の通りです。

原子力歴史構築賞については、(社)日本原子力学会が、創立50周年を
迎えた節目に「第1回原子力歴史構築賞」ができたそうです。

そのときは、65件表彰され内、原子力機構が36件でその中に「むつ」
が含まれております。



日本原子力学会
原子力歴史構築賞
(第2回目以降は、「日本原子力学会賞」に変更)
原子力船「むつ」の研究開発
【独立行政法人日本原子力研究開発機構】
上記は原子力平和利用の進展と
定着に歴史的に重要かつ多大な
貢献をしたものとしてその
歴史的役割を顕彰する
平成21年4月21日
社団法人 日本原子力学会
会長 岡 芳明

(第2回目以降は、「日
本原子力学会賞」に名
称が変わっておりま
す。)

原子力研究開発機構
本部から機構全体に
対し、推薦の要請があ
り本部がとりまとめ
て原子力学会に提出
したそうです。H21年
当時は、原研と核燃料
サイクル機構の統合
後で、六ヶ所に青森セ
ンターが移り、青森セ

ンター所長が推薦者になっています。現在は、青森研究開発センターが別組織となって、むつ市に所在

しています。六ヶ所又は原子力機構本部にあるかも知れません。必要ならば、そちらも確認しますが、宜しく願いいたします。

田中 圭

*****平山より December 22, 2019 10:04 PM

Subject: RE: ふね遺産 「むつ」の件 (1) 推薦書、改行しました (添付)

- (2) 原子力歴史構築賞関係資料有難うございます。添付いただいた資料で結構だと思います
- (3) 「遺産」ではなく「歴史構築賞」という名前にした点は議論の跡が偲べれます。また「船用炉は純日本製」と言うことも重要なポイントかと思います。
- (4) 参考までにですが、「むつ」の場合の賞状・トロフィーの記載文言がわかる写真もお願いできませんでしょうか？

*****田中氏より 2019年12月21日 19:55

差出人: Kei Tanaka <kei1952@r7.dion.ne.jp>

件名: RE: ふね遺産 「むつ」の件

推薦書の修正を施していただき、ありがとうございます。項目1の対象物の備考欄について、日本原子力研究開発機構と海洋地球観測船が続いています。途中で改行していただければ、幸いです。

日本原子力学会の原子力歴史構築賞の創設の経緯、第1回の受賞者リストを送付いたします。

第1回の表彰案件を冊子にしたものと思われれます。創設の経緯に表彰基準が記載されています。

この冊子での原子力船「むつ」の概要は推薦時に送付した資料です。

この歴史構築賞を受けて、学会誌に掲載された「むつ」の原子炉及び原子燃料について、三菱重工業の方が寄稿された資料を送付します。発電用軽水炉は輸入技術ですが、船用炉は純日本製のものであり、その経緯が記載されています。

第1回原子力歴史構築賞に関する資料(対象と理由、賞の写真もあれば)の電子ファイルの入手依頼につきまして、対象と理由ですが、推薦申請資料が良いのでしょうか。また、賞の写真とありますが、トロフィーの写真、授賞式の写真、原子力船「むつ」の写真の何れかでしょうか。お知らせいただければ、幸いです。

宜しく願い申し上げます。

田中 圭

*****平山より December 21, 2019 2:32 PM

Sent: Saturday, Subject: RE: ふね遺産 「むつ」の件

表記の件、とりあえずこちらで調べた関係論文2件を推薦書に追加しました(PDF添付)。まだあるかもしれませんが。

記載いただいた

・日本原子力学会：第1回原子力歴史構築賞に関する資料(対象と理由、賞の写真もあれば)の電子ファイルを送っていただけませんか？

論文コピーなども含めた資料を改めて認定実行委員会にこちらから提出し審議します。

*****平山より 2019年12月19日 0:10

件名: RE: ふね遺産 「むつ」の件

受信しました。学会論文はこちらで調べてみます。関係機関の了解とりつけも有難うございます。

*****田中氏より 2019年12月18日 21:16

件名: RE: ふね遺産 「むつ」の件

平山先生

推薦書を修正しましたが、学会論文集が不明なため、お言葉に甘えて、Word版を送付いたします。

判らない点等あれば、何なりと、お問合せ下さい。

認定された場合につきましては、表彰式に日本原子力研究開発機構の方へ出席をお願いすることとなります。今回の申請の件について、機構本部にも、事前にご了承をいただいております。また、青森研究開発センター所長も全面協力する意向です。宜しくお願いいたします。

田中 圭

追伸 メールアドレスは、誤記でした。本メールのアドレスが正です。失礼しました。

*****平山より田中氏へ 2019年12月17日(火) 10:12:51

件名: ふね遺産 「むつ」の件送信日時:田中圭様 from 平山次清 (日本船舶海洋工学会「ふね遺産認定実行委員会」東部主査、横浜国立大学名誉教授)

この度は「むつ」推薦有難うございました。先週実行委員会があり審議の結果、対象船として「原子力船むつ(非現存船)」を認定する方向となりましたのでお知らせします。

今後種々確認作業後再度実行委員会で確認し(来年2月頃)理事会に提案し(3月頃)、5月の認定委員会で最終決定し、7月に認定式という運びです。

確認・依頼ですが、(1)「むつ」は大改造後「みらい」として現存していますが「むつ」自体は非現存船という扱いです。

従って推薦書の項目1の対象物の内容欄は「原子力船「むつ」と所有者のみを記載いただきたいと思います。みらいは備考欄のみに記載をお願いします。

(2)(1)の扱いに伴い項目3.の写真はむつと原子炉室を内容欄に、みらいは備考欄をお願いします。

(3)日本船舶海洋工学会の論文集にも関係論文掲載があると思いますので、項目6に追加いただければと思います。

(4)推薦原稿をWORDで送っていただければ、こちらで手直し致しますし、学会論文追加も可能かと思えます。

(5)正式に認定された場合、認定書(認定式は、第4回は来年7月3日(金)海運クラブにての予定)は旧所有者代表にお渡しする事になると思えます。

お手数かけますが宜しくお願いします。

草々
